



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 イノテック株式会社

コード番号 9880 URL <https://www.innotech.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小野 敏彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 棚橋 祥紀 TEL 045-474-9000

四半期報告書提出予定日 2020年8月13日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	6,782	5.9	88	177.9	201	478.8	83	ー
2020年3月期第1四半期	6,402	0.1	31	△83.1	34	△86.1	4	△97.4

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △36百万円 (ー%) 2020年3月期第1四半期 99百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	6.55	6.21
2020年3月期第1四半期	0.27	0.26

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	36,812	20,059	52.0
2020年3月期	34,967	20,418	55.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 19,146百万円 2020年3月期 19,416百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	ー	20.00	ー	20.00	40.00
2021年3月期	ー	ー	ー	ー	ー
2021年3月期（予想）	ー	20.00	ー	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,000	2.7	1,650	△1.2	1,800	△5.1	1,100	△5.9	86.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	13,700,000株	2020年3月期	13,700,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	997,418株	2020年3月期	997,418株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	12,702,582株	2020年3月期1Q	14,688,382株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料は、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により社会経済活動が大幅に制限されたことから景気が急速に悪化しており、足元では感染防止策を講じながら段階的に経済活動が再開されているものの、極めて厳しい状況となりました。

このような状況のもと、当社グループにおける当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響によりファウンドリ向けプローブカードや信頼性テストシステムが低迷した一方、メモリー向けテストの需要改善や決済端末の販売が堅調に推移した結果、売上高6,782百万円(前年同期比5.9%増)、営業利益88百万円(同177.9%増)、経常利益201百万円(同478.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益83百万円(同1972.4%増)となりました。

報告セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

〔設計開発ソリューション事業〕

設計開発ソリューション事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により営業活動が制限され、展示会等を活用した新規顧客開拓が難しい状況となりましたが、既存顧客を中心に積極的な営業活動を行い、売上拡大及び収益の安定化に努めてまいりました。主力商品の半導体設計用(EDA)ソフトウェアは、主に既存顧客からの受注が増加したほか、基板設計用ソフトウェアの販売も堅調に推移いたしました。ガイオ・テクノロジー株式会社の車載向け組込みソフト検証ツール販売及びエンジニアリングサービスは、次期製品の開発に注力し収益性は低下したものの、概ね堅調に推移し増収となりました。アイティアアクセス株式会社は、ライセンス販売及び受託開発が堅調に推移したことに加え、決済端末の販売が大幅に増加いたしました。三栄ハイテックス株式会社のLSI設計受託ビジネスは、国内主力顧客の需要低迷が続いたものの、海外事業の好調により収益性が改善いたしました。一方、自社製CPUボードなどの組込み製品は、医療向けや防衛向けが堅調だったものの、FAやセキュリティ関連の需要減により前年同期実績には及びませんでした。また、株式会社レグラスは、AIカメラシステムの量産販売が増加したものの、画像処理関連の受託開発が低迷し減収となりました。

その結果、当事業の売上高は5,010百万円(前年同期比10.3%増)、セグメント利益は322百万円(同45.8%増)となりました。

〔プロダクトソリューション事業〕

プロダクトソリューション事業は、半導体メモリー市場、モバイルデバイス市場等の顧客を中心に当社グループのエンジニアリング力を活かし、高付加価値製商品及びサービスの提供、新規アプリケーションの開拓に注力するとともに、顧客ニーズに対応した製品の開発、商品の開拓に積極的に取り組んでまいりました。自社製テストシステムは、メモリー向けテストの国内需要が改善し、前年同期実績を大幅に上回りました。一方、台湾のSTAr Technologies, Inc.は、新型コロナウイルス感染症の影響による主要部品の供給難や顧客ファウンドリの需要減によりテストシステム及びプローブカードの販売が低迷し減収となりました。

その結果、当事業の売上高は1,771百万円(同4.8%減)、セグメント損失は125百万円(前年同期はセグメント損失60百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は36,812百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,845百万円増加いたしました。これは主に、のれんや商品及び製品、仕掛品が増加したことなどによるものであります。

一方、負債は16,753百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,205百万円増加いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が減少したものの、前受金や短期借入金が増加したことなどによるものであります。

純資産は20,059百万円となり、前連結会計年度末に比べ359百万円減少いたしました。これは主に、剰余金の配当により利益剰余金が減少したことなどによるものであります。この結果、自己資本比率は52.0%となり、前連結会計年度末に比べ3.5ポイント減少いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年5月11日に公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,335,546	6,663,798
受取手形及び売掛金	7,392,265	5,901,601
商品及び製品	2,762,420	3,444,094
仕掛品	568,944	905,540
原材料	543,471	639,617
その他	1,645,145	2,470,458
貸倒引当金	△4,373	△4,639
流動資産合計	19,243,419	20,020,471
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,250,949	8,253,925
減価償却累計額	△4,643,051	△4,692,828
建物及び構築物（純額）	3,607,898	3,561,097
土地	5,877,882	5,877,882
その他	2,639,034	2,809,919
減価償却累計額	△1,559,156	△1,688,357
その他（純額）	1,079,878	1,121,561
有形固定資産合計	10,565,659	10,560,542
無形固定資産		
のれん	567,864	1,561,529
その他	804,490	786,162
無形固定資産合計	1,372,355	2,347,692
投資その他の資産		
投資有価証券	2,013,424	2,071,655
その他	1,772,160	1,812,322
貸倒引当金	—	△45
投資その他の資産合計	3,785,585	3,883,932
固定資産合計	15,723,600	16,792,167
資産合計	34,967,020	36,812,639

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,408,485	2,217,630
短期借入金	2,773,200	3,699,475
1年内返済予定の長期借入金	566,664	788,834
未払法人税等	341,797	161,727
前受金	2,020,905	3,711,572
賞与引当金	261,110	298,414
役員賞与引当金	—	629
受注損失引当金	—	21,875
その他	1,748,794	1,552,056
流動負債合計	10,120,957	12,452,215
固定負債		
社債	2,200,000	2,200,000
長期借入金	1,391,674	1,250,000
役員退職慰労引当金	139,762	123,543
退職給付に係る負債	235,127	238,846
その他	460,824	488,948
固定負債合計	4,427,389	4,301,338
負債合計	14,548,347	16,753,554
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,517,159	10,517,159
資本剰余金	4,506,361	4,506,361
利益剰余金	5,580,009	5,409,199
自己株式	△1,148,593	△1,148,593
株主資本合計	19,454,937	19,284,127
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,235	19,644
繰延ヘッジ損益	△48,060	△41,441
為替換算調整勘定	23,971	△87,749
退職給付に係る調整累計額	△30,779	△27,648
その他の包括利益累計額合計	△38,633	△137,195
新株予約権	277,867	277,867
非支配株主持分	724,500	634,283
純資産合計	20,418,673	20,059,084
負債純資産合計	34,967,020	36,812,639

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	6,402,761	6,782,231
売上原価	4,492,256	4,750,556
売上総利益	1,910,505	2,031,675
販売費及び一般管理費	1,878,552	1,942,862
営業利益	31,952	88,812
営業外収益		
不動産賃貸料	114,531	119,685
投資事業組合運用益	4,089	64,790
その他	23,655	40,954
営業外収益合計	142,276	225,431
営業外費用		
不動産賃貸費用	78,418	84,639
為替差損	44,915	—
その他	16,027	27,784
営業外費用合計	139,362	112,423
経常利益	34,867	201,819
特別利益		
新株予約権戻入益	168	—
特別利益合計	168	—
税金等調整前四半期純利益	35,036	201,819
法人税等	14,557	127,228
四半期純利益	20,478	74,591
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	16,461	△8,649
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,016	83,241

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	20,478	74,591
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,282	3,408
繰延ヘッジ損益	13,425	6,618
為替換算調整勘定	73,375	△124,251
退職給付に係る調整額	727	3,130
その他の包括利益合計	79,246	△111,093
四半期包括利益	99,724	△36,502
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	77,700	△15,320
非支配株主に係る四半期包括利益	22,024	△21,181

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、当第1四半期連結会計期間より、株式会社モーデック及び Accel-RF Instruments Corporationの株式を新たに取得したため、連結の範囲に含めております。また、INNO MICRO HONG KONG LTD. は清算終了したため、当第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	設計開発 ソリューション 事業	プロダクト ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,542,702	1,860,058	6,402,761	—	6,402,761
セグメント間の内部 売上高又は振替高	117	3,340	3,457	△3,457	—
計	4,542,819	1,863,399	6,406,218	△3,457	6,402,761
セグメント利益又は損 失 (△)	221,376	△60,918	160,457	△128,504	31,952

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△128,504千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△128,714千円及び棚卸資産の調整額210千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	設計開発 ソリューション 事業	プロダクト ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,010,867	1,771,364	6,782,231	—	6,782,231
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,930	10,253	12,184	△12,184	—
計	5,012,797	1,781,618	6,794,416	△12,184	6,782,231
セグメント利益又は損 失 (△)	322,810	△125,971	196,838	△108,026	88,812

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△108,026千円は、セグメント間取引消去8,948千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△116,620千円及び棚卸資産の調整額△354千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。